

(別紙1)

事業報告書

事業名	輝く人生100年時代！自分らしく生きるためのプロジェクト
申請分野	団体指定寄附 <u>分野指定寄附（高齢者分野）</u>
目的	<p>※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。</p> <p>高齢者が人生100年時代に向けて、自分らしくより輝いて生きるために重要な介護予防や終活などの課題を、教室やセミナーを通して身近な自分ごととして積極的に取り組んでもらえた。 また単身世帯の悩みの共有や交流においても、年々参加者が増加し、居場所としての役割が大いに果たせた。</p>
事業実施の地域及び対象者	<p>※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。</p> <p>地域：主に香川県（事業によっては全国） 対象者：主に高齢者とその家族、事業によっては関心のある人全般</p>
具体的な事業内容	<p>※実施した事業内容について、具体的に記載してください。</p> <p>①健康寿命を延ばすための支援事業 対象者：高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での介護（認知症）予防教室の実施（事業前予定55回） →63回の開催 ※継続して実施する重要性を理解いただいたこともあり、多くのコミュニティセンターから継続依頼された。また新規実施箇所も増え、参加者数は過去最高の778名となった。 (R3年度305名、R4年度586名) ・介護（認知症）予防に関する講演会の開催（事業前予定5か所） →4カ所5回開催。 ※今年度は収容人数が多く見込める社会福祉総合センターや生涯学習センターで開催。新聞折込チラシの効果もあってか、どちらの会場にも多くの参加者が集まり、関心の深さが伺えた。 なお、折込チラシについては当初の見積もり以外にチラシのデザイン料が追加発生した。終活で予算を組んでいたが、折込チラシの特性や高い経費対効果で配布するため、2つの事業で両面作成した。 <p>②幸せなエンディング（終活）サポート事業 対象者：高齢者、高齢者の家族ほか終活に関心のある人全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノートを使った実践的な書き方や、終活を考える「老後の備え・生き方講座（エンディングノート）」の開催。 (事業前予定全4回×5か所) → 全4回×3か所、全5回×1か所。 ・これから終活を始める人のための「終活のすすめ」講座の開催。 (事業前予定全3回×2か所) → 全3回×2か所 ・各会場のニーズに合わせた内容（例：障害のある親子対象、もしバナゲーム体験など）の、これから終活を始める人のための終活講演会の開催。(事業前予定8カ所) → 7カ所

	<p>※別紙のアンケートの感想を見ると、終活をはじめめるきっかけづくりに役に立っていることがわかる。昨年から引き続き参加の方もおられ、講座内容の満足度も高い。また、今年度から新たに始めた「終活のすすめ」も、テーマの片付けについて関心が高いことがわかった。</p> <p>③介護予防・終活に関わる人材育成事業 対象者：介護予防・終活支援活動をしたい人 ・介護予防・終活サポーター養成講座の実施 (事業前予定全4回×3か所) → 全4回×3か所実施 ※昨年度より回数は減ったが、1 養成講座の参加者数が多くなっている。生涯学習センターへの申込者数はこちらの想定を大きく上回り、修了者数も過去3年間ですでに100名を超えた。</p> <p>・受講者向けフォローアップ研修(事業前予定2か所) → 2か所実施 ※フォローアップ研修も2年目になり、講座修了後、研修に参加する意欲的な方の割合は1割程度であることがわかった。</p> <p>・サポーター活躍支援(受講者の活動参加希望の聞き取り調査と地域で必要としている要支援者へのマッチング) →修了者に向けて往復はがきによるアンケート調査を実施。 (アンケート内容は別紙参照) 活動希望内容を踏まえて来年度へつなげる。</p> <p>④おひとりさまの寄り愛カフェ事業 対象者：お一人暮らしの高齢者または、高齢夫婦世帯 ・老後の暮らしについての相談や、‘老後の備え’についての学び、お互いに交流できる場を提供するカフェの運営 (事業前予定10回) → 10回実施 ※1年通して実施することで、参加人数も安定して増えてきている。ワークショップなども取り入れ、新しい課題にも取り組んでもらう内容にできた。</p>
事業実施の効	<p>※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。</p> <p>NPO 基金補助金による事業実施も3年目を迎え、認知度や継続の重要性の理解も高くなっているのが感じられる。事業を継続することによってサポーター養成講座の修了生も増え、今後、地域での活動のほかに、当法人にとっての強力なサポーターを得ることができた。また、介護(認知症)予防講座や終活セミナー受講者の蓄積により、単に1つのテーマにだけ参加するのではなく、例えば介護予防(認知症)講座の受講者が終活セミナーにも参加するなど、興味の移行の流れも生まれてきている。</p>
備考	<p>※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。</p>

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加 予定者数
5月	①健康寿命を延ばすための支援事業 ・地域での介護（認知症）予防教室の実施 ・介護（認知症）予防に関する講演会の開催 昨年度の内容の精査・検討、実施回数など決定	高齢者	地域での 介護(認知症)予 防教室 のべ778名
7月～	日程調整、開催場所の選定 チラシ作成・告知・四国新聞折込チラシ発注		介護(認知症)予 防に関する講 演会
4月～3月	予防教室、講演会実施 ※詳細はチラシおよび実績一覧01を参照		180名
3月	アンケート集計結果分析・見直し検討		
5月	②幸せなエンディング（終活）サポート事業 ・老後の備え・生き方講座(エンディングノート) の開催 昨年度の内容の精査・検討、実施回数など決定	高齢者、高 齢者の家族 ほか終活に 関心のある 人全般	のべ255名
7月	日程調整、開催場所の選定 チラシ作成・告知・四国新聞広告発注		
10月	エンディングノート発注		
10月～2月	終活（エンディングノート）講座実施 ※詳細はチラシおよび実績一覧02を参照		
3月	アンケート集計結果分析 来年度に向けた開催内容の見直し ・これから終活を始める方のための 「終活のすすめ」講座		
9月	企画打ち合わせ（講座内容、実施回数など）	高齢者、高 齢者の家族 ほか終活に 関心のある 人全般	のべ74名
10月	日程調整、開催場所の選定		
11月	チラシ作成・告知		
1月～3月	講座全3回×2か所にて実施 ※詳細はチラシおよび実績一覧02を参照		
3月	アンケート集計結果分析、開催内容の見直し		

4月	・これから終活を始める方のための終活講演会 企画打ち合わせ（講座内容、実施回数など）	高齢者、高齢者の家族ほか終活に関心のある人全般	のべ 253 名
4月～	日程調整、開催場所の選定 チラシ作成・告知・四国新聞広告発注		
4月～2月	終活講演会 7か所にて実施 ※詳細はチラシおよび実績一覧 02 を参照		
7月	③介護予防・終活に関わる人材育成事業 ・介護予防・終活サポーター養成講座の実施 ・受講者向けフォローアップ研修 昨年度の内容の精査・検討、実施回数など決定	介護予防・終活支援活動をしたい人	介護予防・終活サポーター養成講座 のべ 233 名 受講者向けフォローアップ研修 のべ 49 名
8月	日程調整、開催場所の選定 チラシ作成・告知・四国新聞広告発注 テキスト発注		
10月 9月～2月	養成講座・フォローアップ講座実施 ※詳細はチラシおよび実績一覧 03 を参照		
3月	アンケート集計結果分析 来年度に向けた開催内容の見直し ・サポーター活躍支援	介護予防・終活サポーター養成講座修了者	修了者 107 名
12月～	介護予防・終活サポーター養成講座修了者に活動意向の聞き取り		
1月	→往復ハガキでアンケート調査		
3月	アンケート集計結果分析 来年度に向けた活動マッチングの検討		
4月	④おひとりさまの寄り愛カフェ事業 事業内容の検討	お一人暮らしの高齢者または、高齢夫婦世帯	133 名 平均 13 名/回
4月～	日程調整、開催場所の選定 チラシ作成・告知・四国新聞広告発注		
4月～2月	全 10 回開催		
3月	終了後の聞き取り検証		

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施するかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加予定者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明
NPO基金補助金額	★¥2,647,140	
自己資金計	¥214,100	①+②+③+④
①参加料収入	¥84,600	
②会費等		
③寄附金等		
④その他	¥129,500	エンディングノート代・養成講座教材費
その他助成金等収入計	¥374,780	①+②+③
①補助金収入		
②委託金収入	¥374,780	
③その他	¥0	
その他資金収入	¥0	
合 計	¥3,236,020	

(注) その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金 額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
①健康寿命を延ばすための支援事業	¥949,570	¥681,770	明細は添付資料01【支出】を参照 ※コミュニティセンターからの謝金収入を充当
②幸せなエンディング (終活) サポート事業	¥1,287,676	¥1,042,196	明細は添付資料02【支出】を参照 ※教材費収入、コミュニティセンターからの謝金収入を充当
③介護予防・終活に関わる 人材の育成事業	¥590,073	¥536,873	明細は添付資料03【支出】を参照 ※教材費収入、コミュニティセンターからの謝金収入を充当
④おひとりさまの寄り合い所 「寄り愛カフェ」事業	¥274,450	¥252,050	明細は添付資料04【支出】を参照 ※参加費収入を充当
事業全体支出	¥134,251	¥134,251	明細は添付資料00【支出】を参照
合 計	¥3,236,020	★¥2,647,140	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。